

赤ちゃんが泣きやまない

- おしりが赤い
- 2～3日前からウンチが出ていない
- 耳をさわる、耳だれがある
- 大声で大泣きをする、意識はしっかりしている

緑

- 泣いていたのに、急に泣きやみぐったりした
- いつもと泣き方がちがう
- おむつをかえるとき、足を痛がる
- 足の付け根がふくらんでいる
- 顔色が悪く、不機嫌そうに痛がる
- 激しく泣いて、呼吸が止まったようになり、真っ青となる
その後、ひきつけた

黄



緑

日中に
かかりつけ医へ

黄

夜間でも
相談または受診

赤

救急車を呼ぶ

赤ちゃんが泣きやまないわけ

乳幼児が泣きやまない原因は非常に多く、年齢によっても様々です。

おっぱいを与えたり、だっこで泣きやむ場合、まず心配はありません。

- 1～3か月ごろの赤ちゃんが、いつも決まって夕方ごろに泣き出すのをコリックといいます。原因ははっきりしませんが、その後4か月、5か月と月齢が進むにつれて自然にみられなくなります。
- 泣きやまない原因がおむつかぶれだったり、便秘、中耳炎でも軽症の可能性が高い場合は、経過観察でもよいことが多いので、日中に「かかりつけ医」を受診してください。しかし赤ちゃんの状態が急に変化したり、泣き方がいつもと比べてちがうと感じる時は、夜間でも相談または受診して下さい。
- 足の付け根がふくらんでいる時には、鼠径ヘルニアが考えられます。激しく泣いた際など、足の付け根に力が入った場合にみられます。ふくらみが戻らなくなり泣き続ける場合は、夜間でも相談または受診して下さい。
- 激しく泣いた後ひきつけた場合は、泣き入りひきつけ(憤怒けいれん)が考えられます。ひきつけは自然に止まりますので、心配はいりません。

便秘の対処法

- 新生児・乳児・・・綿棒を食用油で湿らせ、肛門に1cmほど(綿棒のさきが隠れるぐらい)入れたり、出したりして刺激してみます。
- 幼児・・・市販の浣腸液を使用してみてください。

夜泣きしたとき

まずは泣いている原因を考えてみましょう。オムツを替えたり授乳しても泣き止まない場合は、暗く静かな部屋で抱っこしてみてください。外に出て気分転換させるのもよいかもしれません。

しかしながら夜泣きの原因ははっきりしないことが多いのです。親のいらいらが赤ちゃんに伝わり、ますます激しく泣いてしまいます。こんな時にはなかなか難しいことですが、穏やかな気持ちで接してあげましょう。